



2016年3月20日 (第171号)
発行所 カトリック高松司教区 広報委員会
〒760-0074 高松市桜町1-8-9
TEL 087-831-6659 FAX 087-833-1484
Email
教区: catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.ne.jp
広報: tk-koho@mxi.netwave.or.jp
生涯養成: yousei@takamatsu.catholic.ne.jp
WEB://www.takamatsu.catholic.ne.jp/

カトリック高松教区報

マザー・テレサの言葉
あなたがたが汲む泉は、十分に深くないればなりません。
そうすれば、あなたがたが愛している人々は、遅かれ早かれ、どこからその愛が湧き出ているかが分かるでしょう。

溝部脩名誉司教ご逝去

高松教区の再生と一致に力注ぐ

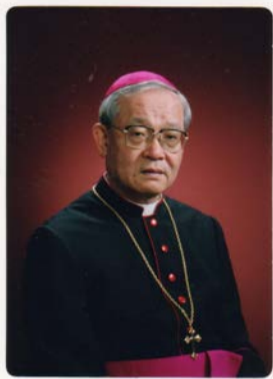
遺徳しのび葬儀に800人

高松教区司教として7年間司牧された溝部脩名誉司教が2月20日、入院先の京都大学医学部付属病院で亡くなりました。80歳だった。溝部司教は任期中、分裂状態の同教区の一致に心血を注がれ大きく前進させた。若者の育成にも活発に動かれ、教区の恩人として、その死は多くの人から惜しまれた。

高松教区司教として7年間司牧された溝部脩名誉司教が2月20日、入院先の京都大学医学部付属病院で亡くなりました。80歳だった。溝部司教は任期中、分裂状態の同教区の一致に心血を注がれ大きく前進させた。若者の育成にも活発に動かれ、教区の恩人として、その死は多くの人から惜しまれた。

溝部司教は2004年7月19日、仙台教区長から高松教区長として着任した。「聖霊のもとらす一致」を掲げ、当時『道』の問題で分裂状態にあった同教区の「一致と再生」に心血を注ぎ困難な問題が山積する中、重い十字架を担って歩まれた。教区内を車で回り、状況を把握、教区を動かす両輪となる司祭評議会、宣教師牧評議会を設置。典礼、青年の育成に力を入れた。特に青年活動の活性化に力を注ぎ、若者たちがキリストの御言葉を分かち合い人生を考える講座「若者と聖書」を4県で継続して開き、自らも講師となつて走り回ることもしばしばあった。

溝部司教は2004年7月19日、仙台教区長から高松教区長として着任した。「聖霊のもとらす一致」を掲げ、当時『道』の問題で分裂状態にあった同教区の「一致と再生」に心血を注ぎ困難な問題が山積する中、重い十字架を担って歩まれた。教区内を車で回り、状況を把握、教区を動かす両輪となる司祭評議会、宣教師牧評議会を設置。典礼、青年の育成に力を入れた。特に青年活動の活性化に力を注ぎ、若者たちがキリストの御言葉を分かち合い人生を考える講座「若者と聖書」を4県で継続して開き、自らも講師となつて走り回ることもしばしばあった。



溝部司教の肖像画



葬儀の様子

サレジオ会管区長 山野内倫昭

溝部司教は朝鮮の新義州(しんぎしゅう)という町で1935年(昭和10年)3月5日に生まれ、終戦となつて引き上げ、母の故郷である大分県東半島へ。その後別府市へ移住。脩少年は不良仲間との付き合いで、警察に補導されることもあり、心配した母が近くにあってカトリック教会に行くことを勧めました。そこでサレジオ会宣教師リベアベラ師と出会い、神父様の姿にひかれて教会に通い、昭和24年(1949年)のクリスマスに受洗。ちょうどその年、聖フランシス・サビエル渡来400年を記念して聖人の聖なる

腕が日本を訪れ、その縁で洗礼名を頂きました。時に中学3年生でした。翌1950年(昭和25年)にリベアベラ師の勧めで、小神学校に入学。高校を卒業して、東京調布のサレジオ神学校に進学し、チマツティ師の薫陶を受けることが出来ました。東京調布で、サレジオ会の修練期を過ごし、1955年(昭和30年)3月25日に初誓願を宣立し、入会しました。特に高松では「新求道共同体」のことで高松教区の一員となりました。2011年3月、「定年退職」の願書が受け入れられ、高松教区長の職を退き、京都の西陣に「望洋庵」という庵を作り、多くの若者の指導をしました。

荒野に復活の光を掲げましょう

イエスの宣教活動の現場は「荒野の現実」でした。私たちにあって「荒野」とはどんな現実なのでしょう。

「主よ歩けるようにしてください」、「主よ見るようにしてください」、「主よ癒やしてください」。人びとの、いや私たちの切なる「回復」の祈りに、イエスは向き合われ、「神の慈しみ」をお開きになり、日々取りなしを与えて下さいます。



復活の光を掲げよう

復活の主は人びとと出会い、招き、時代と地域を超えて、その命と愛を注ぎ、広がり生き続けたのです。父はイエスの復活によって、ご自分の慈しみの計画を続けておられるのです。イエスの愛は引き継がれ生きつづけているのです。主の復活は世界に神の慈しみの絶えることのない希望を与えた出来事なのです。その愛を私達の教会が制限を設けて、小さくしてしまつていないように気をつけたいと心から思います。

溝部司教に永遠の安息を 青年たちを愛し育て励ました

イタリアに留学し、神学を学び、1964年(昭和39年)2月9日、トリノにおいて司祭に叙階され、引き継ぎローマ・グレゴリオ大学で史学科の勉強を続けました。1967年(昭和42年)帰国して、大分司教の秘書を務めるとともにギリシヤの研究をつづけ、上智大学史学科で修士課程を修了して、ギリシヤの殉教者の

今は四旬節。神さまに心向け直す「回心」の恵みを願う季節です。特別聖年のロゴのように、よい羊飼いのイエスさまに背負われて顔と顔、目と目を合わせてイエスさまと一つのものとなり、御父のようにいつくしみ深い者となれるように祈りながら、人を裁かず、罪に定めず、限らない愛とゆるしのうちに生きることができれば幸いです。イエスさまは「わたしが来たのは正しい人を招くためではなく、罪びとを招くためである。」(マタイ9:13)とおっしゃいました。教会はきれいごとばかりではなく、過ちと汚濁の中で苦しむ人々の集まりですが、そんな私たちがのために、いつくしみの泉であるイエスさまの御心から血と水とがほとばしり出たのです。悔い改めてその命の泉に近づける者は皆、完全な赦しをいただくことができます。

「主よ歩けるようにしてください」、「主よ見るようにしてください」、「主よ癒やしてください」。人びとの、いや私たちの切なる「回復」の祈りに、イエスは向き合われ、「神の慈しみ」をお開きになり、日々取りなしを与えて下さいます。しかし神の慈しみの笑顔を見せられずして、悪魔は、ある立場の人々を使つて話した(ルカ6章6-11)。

この大地が創造主のみ心の家であるために、平和を祈り奉仕してまいりましょう。神の愛が永遠であることとを証していきます。主の復活の光を「荒野の現実」に掲げてまいりましょう。

「御父よ、どうかイエスさまの痛みしいご愛難によって私たちが全世界にいつくしみを注いでください。」と祈りたいと思います。

はばたき

修道院紹介

聖ドミニコ宣教修道女会

北条修道院

大学も併設する宣教の拠点



明るい陽光のもと、キラキラ輝く瀬戸の海を展望し、背後に高瀬川がそびえる自然豊かな田園地帯、その真中に高い鐘楼がシンボルのみどり溢れる聖カタリナ大学。短期大学開学の運びとなり、キャンパス内には特別養護老人ホーム聖マルチンの家、短大附属幼稚園、女子学生寮などが次々と建築され、新たな宣教の拠点としてここに北条修道院が創立されました。

1967年、創立当初は、修道院もなく派遣された7名のシスターは聖マルチンの家の片隅に仮住いし、各地から次々運ばれて来るご老人を受け入れ世話をしながら、

1984年、現在の修道院が建築され、聖堂は北条教会として高松教区に委ねられました。少人数ながら、土曜学校も開き、子ども達も信仰教育を受けて成人してゆきました。

しかし時代は移り諸事情の中で、2002年、時の教区長深堀司教様によって北条教会廃止を宣言され、松山教会に合併されました。現在は、信徒の高齢化も進み信徒数も10名余です。主日ミサも、集会祭儀をもって信仰共同体の絆を深めています。

1988年、中四国初の社会福祉女子大学を設置し、現在は男女共学の間健康福祉学部のもとに学科を有し、パイオルカン演奏、

学キャンパスが広がり、その南端に北条修道院は位置しています。

シスター達は10名、大学・ホームに現役で宣教奉仕をしている4名、学生シスター1名、後期高齢者で元気な5名のシスターは、院内でそれぞれ奉仕をしています。

朝5時半起床、祈りで始まり、夕べの祈りは6時から終課まで共同で祈ります。神への賛美と感謝、依頼された方々のため、恩人のために祈ります。

1965年、聖ドミニコ宣教修道女会を経営母体とする聖カタリナ学園は、高度成長に向う社会のニーズに応え、短大設置を断念し、松山市に隣接する当時北条市にそのキャンパスを置くことを決め、田圃の中に一万坪の広大な土地を求め、9月から校舎建築に着手し、4月から待望の聖カタリナ

『典礼奉仕』のために (23)

典礼聖歌についての解説 その4

高松教区典礼委員長 谷口広海

典礼聖歌についての連載をひとつにしよう」という最終となる今回は、典礼聖歌集以外の会衆讃美歌についても見たいと思う。

カトリック教会では聖歌集は『公教聖堂聖歌集』（会衆用聖歌集）、『公教聖歌集』、『カトリック聖歌集』など、必ず『カトリック』を現すことがつかわれていきます。

これは「信仰宣言」にある「カトリック」という固有の名詞を置き、『典礼聖歌』と命名したのです。

『聖歌』『讃美歌』も各教派の教会によって、さまざまなものがあります。

教会のもっとも伝統的な祈りの歌は、なんと『聖書』のことばを歌うものからです。

しかし、第2バチカン公会議で、『エキシムニスム』に関する教令が发布されて、「教会は本来ひとつであり、思想、文化の相違から分かれたキリストの教会



サルテテ（ヘルスプロモーションセンター）、ドミニコカールペンティール師の宗教画ギャラリーを通して地域に開かれた大学として位置しています。

北条修道院長
SR 神林直子

近（1966年）の列聖運動を象徴するシンボルマークの制定が発表された。このマークの制定を機に、教皇フランシスコによる右近の列聖式典に向けて、日本の教会がますます

「神との交わり」を表し、十字架は、三位一体の神と人々の関わりの中で、揺るがない信仰へと導かれ広がっていった右近の生涯を表す。輪の内側からの水色と濃い青は右近の聖性の深まりを、外側の朱色は右近の深い祈りと命をささげるまでのキリストへの燃える愛を表す。

「カトリック」という固有の名詞を置き、『典礼聖歌』と命名したのです。『聖歌』『讃美歌』も各教派の教会によって、さまざまなものがあります。教会のもっとも伝統的な祈りの歌は、なんと『聖書』のことばを歌うものからです。

近を導いた聖霊の七つの賜物のシンボルでもある、十字架から発して七曜星を包む緑は、永遠の命への希望を意味する。

三つの輪は、三位一体の神と人々の関わりの中で、揺るがない信仰へと導かれ広がっていった右近の生涯を表す。輪の内側からの水色と濃い青は右近の聖性の深まりを、外側の朱色は右近の深い祈りと命をささげるまでのキリストへの燃える愛を表す。

金祝 ス페인宣教会 フェルナンド 叙階 1966年12月17日



叙階 1966年12月17日

スペイン宣教会フェルナンド

私がフェルナン・ペイン外国宣教会の神父様と出会ったのは、2000年でした。このころ、食事をされた。楽しそうに話される神父様。笑顔が印象的でした。

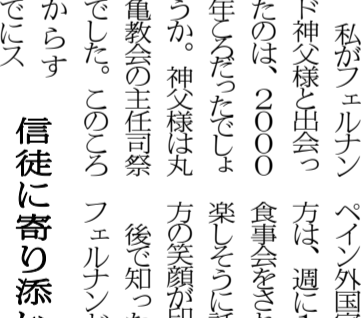
信徒に寄り添い歩まれる

4月から新居浜教会で司牧されています。

常に信者に寄り添い、イエス様と伴に歩まれてきた神父様、司祭叙階50周年おめでとうございます。

新居浜教会 鈴木 強

司祭叙階記念



叙階 1966年12月18日

大阪教区の司祭として、また東内では観音寺は観音寺信仰の神父様は、いつも明るく私達に接して下さり、冗談交じりの会話をされた。新しい丸亀教会に赴任されて1年余りですが、や、西讃地区の宣教師として、電話を掛けて神様のメッセージを伝えていただいています。

丸亀教会 太田 肇子

スペイン宣教会 カンバラ師

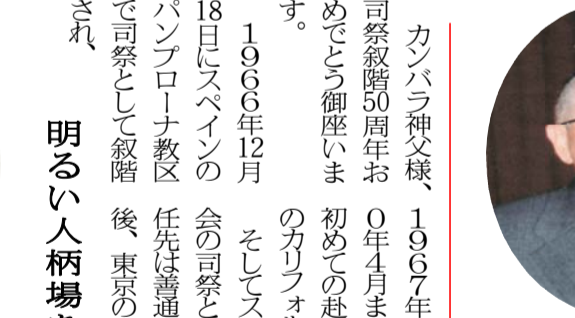


叙階 1966年12月18日

大阪教区の司祭として、また東内では観音寺は観音寺信仰の神父様は、いつも明るく私達に接して下さり、冗談交じりの会話をされた。新しい丸亀教会に赴任されて1年余りですが、や、西讃地区の宣教師として、電話を掛けて神様のメッセージを伝えていただいています。

丸亀教会 太田 肇子

おめでとう！



叙階 1966年3月19日

カンバラ神父様、1967年3月から1970年4月まで、司祭として初めて赴任先がアメリカのカリフォルニアでした。そしてスペイン外国宣教会の司祭として初めての赴任先は普通寺教会で、その後、東京の日本語学校や、深い神父様の存在は人気の的でした。

新しい丸亀教会に赴任されて1年余りですが、や、西讃地区の宣教師として、電話を掛けて神様のメッセージを伝えていただいています。

丸亀教会 太田 肇子

オブレート会 プルゴアン師



叙階 1966年3月19日

カンバラ神父様、1967年3月から1970年4月まで、司祭として初めて赴任先がアメリカのカリフォルニアでした。そしてスペイン外国宣教会の司祭として初めての赴任先は普通寺教会で、その後、東京の日本語学校や、深い神父様の存在は人気の的でした。

新しい丸亀教会に赴任されて1年余りですが、や、西讃地区の宣教師として、電話を掛けて神様のメッセージを伝えていただいています。

丸亀教会 太田 肇子

金祝

レモン・プルゴアン神父様、司祭叙階50周年おめでとうございます。

アン神父様、司祭叙階50周年おめでとうございます。

おブレート会神学院に召されてからは、東京修学院、修練院、白百合女子大学で教職に就き、高知では幼稚園長、主任司祭等を務め、昭和51年から現在に至るまで、管区司祭をしています。

皆様のお励ましに感謝 祭壇奉仕者に選任されて

神学科2年 高山徹



カリスとパテナを授与される高山神学生

去る2月14日、祭壇奉仕者の選任頂くことが出来ました。ご報告申し上げますと共に、これまでのお祈りとご支援に心より感謝申し上げます。

私が高松に来させて頂いて丸6年が経とうとしております。その間、教区民の多くの皆様は、励まされ助け頂いてきました。皆様のお支えなくして、一歩も進めなかつたことでしょうか。この度、ご聖体への奉仕職にも与らせて頂くことになり、大事な段階にまで進んで頂いてお祈りをします。私のある恩師は、言います。「無償で頂いたものは無償でお返ししなさい」と。

確かに、多くの方から頂いたものを、皆様とまた分かち合うことに、祭壇奉仕の意味を感じております。先日、病床にある祖父が、声を振り絞って「アメン」を唱えました。精一杯の祈りと励ましました。生命の灯を燃やし続ける祖父を前に、自分の悩みの何と小さいことかと思えました。祖父は飲み込みが出来ないため、聖体を届けられませんが、祖父の為に、この奉仕職を感謝の心を込めて務めさせて頂く所存です。また、未熟な私ですが、今後ともご指導ご鞭撻、そして何よりもお祈りを宜しくお願ひ申し上げます。

若者たち巡りめぐって 人生や信仰生活を考える



ネットワークミーティング in 四国

2016年2月27日から28日にかけてネットワークミーティング in 四国 (以下NWMI) が松山市の聖カタリナ学園セミナーハウスにて開かれた。

NWMIとは、カトリック青年連絡協議会によるカトリックの青年の全国大会とも言えるもので、年に2回教区の持ち回りで開催される。



さあ巡礼に出かけよう



「めぐり」を分かち合う

全国から130人 お遍路体験

「めぐる」人生という巡礼の旅。これがNWMI in 四国を開催するに当たって設定したテーマであるが、このテーマは「四国八十八ヶ所巡礼」「お遍路さん」からヒントを得て設定した。「山あり谷あり、人生も巡礼の旅と同じようなものではないか」という発想から「めぐる」というキーワード



うどんのあかあかが待ちどかしい

準備を進めていく中で、特にテーマやコンセプトの検討により多くの時間を割いた。「信仰体験」を大切にしようという考えから、まず企画実行を行うに当たって自分たちの信仰について振り返るため、長崎に巡礼に行ったり、溝部司教様の指導のもと望洋庵にて泊

神父様や信徒の相談役

丸亀教会 嶋田幸子さん (83歳)



かなりの素晴らしい作品なので、これだけの物を作り上げる情熱と、何事も最後まで仕上げる気力を何処に秘めているのか不思議な位の人物です。

日曜日は早めに来られ、前の方のベンチで一人静かに祈りしておられる姿に、やはりこれだけの作品を作り出すエネルギーを持っているオーラが感じられる。

24年前に熱心な信者であったご主人が亡くなられた後は、ずっと自転車で教会に来られ、年を重ねた現在は健康の維持の為に、歩いてミサに与っている。

教会内で解らない事、困った事があれば直ぐに嶋田さんの元へ相談に行き解決をして貰う。

初めて宣教して来られた初代の神父様から、現在の神父様までずっと仕えて来られた事で嶋田さんの人生は神様と共に歩まれたと言っても過言では無いと思う。何時までもお元気でいて下さい。

文責 丸亀教会 太田 修

現在の丸亀教会で唯一、一番古い信者さんでスペイン外国宣教会の神父さんのお母さんみたいな存在で、神父様や信者の皆さんの相談役でもある笑顔の素敵な女性である。

若い頃からスポーツに熱心で、特にテニスでは国体にまで出場するほどの実力者でもある。

また、教会では一切の素振りは見せないが、自宅を訪ねるとびっくりするくらいの趣味がある。

素人の域を超えた作品の数々、それは七宝焼きで作った絵や小物類の装飾品等、また壁に掛けられている書の掛け軸や、大きな額に飾られた入選作の毛筆の書の作品は県展入選作品もあり、どれもが圧倒する

また2日目に開催された「八十八ヶ所めぐり」はわざわざ四国まで足を運んでもらった参加者に「お遍路さん体験」をしてもらおうと、会場のセミナーハウスの周囲7キロに巡礼の道として設定した数ヶ所の札所を、班ごとに巡りながら歩くというプログラムである。

それぞれの札所では、参加者は話を聞いたり、分かち合いをしたり、祈りをささげたりした。これらのプログラム以外にもテゼの祈りや各教区の青年によるインフォメーションなど、盛りだくさんのプログラムとなった。

また2日目の朝から香川の信者の皆さんが会場に集まり、1日目の夕食で参加者に振る舞われた。

また2日目の朝から香川の信者の皆さんが会場に集まり、1日目の夕食で参加者に振る舞われた。

相手を受け入れる大切さ

MEのウィークエンドに参加



今年2月の丸亀教会での集い

その熱心さに同居していた母も、「行っておいで！」と後押ししてくれました。宝塚(売布)に泊る3日のウィークエンドへ参加することが出来ました。

MEに参加した私達の原点は、子供が思春期を迎えて心が荒れていった時、2人対話をしたいと思っても、なかなか出来なくて、心がモヤモヤしていた時でした。

関西よりMさんのカップルがMEを広めに、我が家も増え、会話も弾む様になりました。家の中の雰囲気もかなり良くなって来ました。

MEのウィークエンド(WE)から帰ってからも、素直な気持ちで共に行動する事も増えて、会話も弾む様になりました。家の中の雰囲気もかなり良くなって来ました。

MEのウィークエンド(WE)から帰ってからも、素直な気持ちで共に行動する事も増えて、会話も弾む様になりました。家の中の雰囲気もかなり良くなって来ました。

MEのウィークエンド(WE)から帰ってからも、素直な気持ちで共に行動する事も増えて、会話も弾む様になりました。家の中の雰囲気もかなり良くなって来ました。

歩き祈り 分かち合い お接待に舌つづみ

1日目のメインプログラムにある「めぐる」はスタッフ

が5つの部屋に分かれ、「めぐる」という言葉を表した5種類の図についてそれぞれ説明する「プレゼンター」になり、それを班ごとに「めぐって」というプログラムである。

プレゼンターであるスタッフが



テゼの美しい光景

食事に於いて、特記しておきたいのは1日目の夕食、希望を持って、歩いてほしいというメッセージを伝

食は本場の味「特製手打ち讃岐うどん」を頂いた。

全てのプログラムが終わり、ミサ、閉会式が執り行われた。最後に実行委員長からの挨拶に代えて、「人生という巡礼の旅は楽しい時もあるが辛い時もある。しかしいつも神様がともにいらっしゃる(同行二人一いんマヌエル)ことを忘れずにおきたい」というメッセージを伝

また2日目に開催された「八十八ヶ所めぐり」はわざわざ四国まで足を運んでもらった参加者に「お遍路さん体験」をしてもらおうと、会場のセミナーハウスの周囲7キロに巡礼の道として設定した数ヶ所の札所を、班ごとに巡りながら歩くというプログラムである。

それぞれの札所では、参加者は話を聞いたり、分かち合いをしたり、祈りをささげたりした。これらのプログラム以外にもテゼの祈りや各教区の青年によるインフォメーションなど、盛りだくさんのプログラムとなった。

また2日目の朝から香川の信者の皆さんが会場に集まり、1日目の夕食で参加者に振る舞われた。

また2日目の朝から香川の信者の皆さんが会場に集まり、1日目の夕食で参加者に振る舞われた。

資料提供へのお願い

番町教会は2021年、創立100周年を迎えます。そのための資料収集を計画しています。特に、創立当初から戦前の写真や教会報等をお持ちの方の協力をお願い致します。

番町教会広報部 ☎ 087-823-0430 FAX 087-823-0431 (前号まで2022年と誤記掲載をしていました。お詫びして訂正いたします)

代表 桜町教会 渡邊 信

NWMI in 四国 2016

MEに参加した

MEに参加した私達の原点は、子供が思春期を迎えて心が荒れていった時、2人対話をしたいと思っても、なかなか出来なくて、心がモヤモヤしていた時でした。

関西よりMさんのカップルがMEを広めに、我が家も増え、会話も弾む様になりました。家の中の雰囲気もかなり良くなって来ました。

MEのウィークエンド(WE)から帰ってからも、素直な気持ちで共に行動する事も増えて、会話も弾む様になりました。家の中の雰囲気もかなり良くなって来ました。

MEのウィークエンド(WE)から帰ってからも、素直な気持ちで共に行動する事も増えて、会話も弾む様になりました。家の中の雰囲気もかなり良くなって来ました。

教区スケジュール

3月 20日(日) 受難の主日(枝の主日) 一聖週間 【世界青年の日】 春分の日 21日(月) 振替休日 23日(水) 聖香油ミサ11:00 24日(木) 聖木曜日(主の晩餐) 25日(金) 聖金曜日(主の受難) (大斎・小斎) 【聖地の為の献金】 26日(土) 聖土曜日/復活徹夜祭 27日(日) 復活の主日 祭 オペラ高山右近 至福の王者 剣協愛か 上演n小豆島土井町中央公民館(無料) 13:00 4月 2日(土) 小教区評議会議長「会計説明会」in四国会館14:00 3日(日) 復活節第2主日(神のいつくしみの主日) 4日(月) 神のお告げ 山下悟師命日 10日(日) 復活節第3主日 17日(日) 復活節第4主日 【世界召命祈願日】 23日(土) 少年少女の聖年(〜24日) in丸亀 24日(日) 復活節第5主日 25日(月) 聖マルコ福音記者 祝 29日(金) 昭和の日 聖カタリナ(シエナ) おとめ教会博士 記

聖マルチン病院緩和ケア病棟 (上)

自分らしい最期を生きられるように



ディールーム

聖マルチン病院の緩和ケア病棟は、キリスト教の愛の精神に基づいて、がん終末期の患者さんに対して医師・看護師を中心に薬剤師、修道士を含めた様々な専門職がチームを組んで可能な限り苦痛と苦悶を緩和する医療を行います。患者さんがご家族と与えられている命を最期まで自分らしく生きる事ができるように努めています。

病棟では、一日の初めに始業の祈りをし、その後ミーティング、午後にはアスナフアレンス、亡くなった患者さんのケアを振り返りながら、今後のケアの質を高めていくためのデスカンファレンス、第3木曜日は遺族

時から井原神父様によってミサが捧げられ、シスター、入院・外来患者さんが共に祈っています。また、第3木曜日は遺族

ある日、スタッフは神様の御心に旅立つ日が近づいている患者さんから、ご主人の誕生日が近いことをお聞きしました。そこで受持ち看護師が中心となって、患者さんの思いを叶えるため誕生会を計画することになりました。患者さんは、誕生日までにご主人に感謝の手紙を書きたいと言われました。そこで患者さんは、スタッフに支えてもらいながら震える手で時間をかけて手紙を書きました。ご主人が働いているため誕生会は夜間の集いになり

2016年度高松教区辞令

- 香川東讃ブロック * () 内は旧任地 松浦信行・校町教会担当・校町聖母幼稚園チャプレン(大阪教区) 村上康助・東讃ブロック協力司祭 教区会計相談役(校町教会) 香川西讃ブロック 宋 亨根・観音寺・池田教会担当・観音寺聖母幼稚園チャプレン(東讃ブロック) カンバラ・善通寺・丸亀教会担当・丸亀・善通寺聖母幼稚園チャプレン(善通寺教会) 高知地区 セルバ・江ノ口・赤岡教会担当(名古屋) プルゴアン・中村教会担当・高知ボランティアビューロー・青濤の家担当(高知地区協力) クリスティ・帰国

貧しい人達と連携しよう

高松 教会一致祈禱の集い

クリスマスとして新年とあわただしいままに私たちはキリスト教一致祈禱週間を迎えました。この一致祈禱週間は毎年1月18日から25日までの8日間、全世界のキリスト者が心を一つにして祈る週間として実施されています。

高松では、今年から20余年(聖公会、高松クリスチャンチャーチ(ペンテコステ)、常盤町教会(バプテスト)、そして校町教会(カトリック)の4か所で行われてきました。各集まりには司祭や牧師を含めて30人近い信徒が参加されました。

八日間の中で多い年は3会場、少ない年で2会場、たいていは今年のように4会場です。

聖公会の角瀬司祭様は、主の洗礼について神学に裏打ちされた素晴らしいお話をされました。バプテスト恵み教会の塚田牧師様は小さき教会の塚田牧師様は小さき教会の塚田牧師様は若い人たちが揃っていることを希望を述べ

神さまの話聞きミサも ボーイスカウト研修会



坂出 海の家での野外ミサ

1月10日〜11日「坂出市海の家」にてJCCS(カトリックスカウト指導者協議会) 四国支部主催でキリスト教の研修会が開催されました。

坂出教会から1名、今治教会から1名、松山教会から2名の計4名のペンチャースカウト(高校生)が一日で参加しました。普通聖教会のネルソン神父様と阿南教会のBr・八木に講師をお願いし、第1講話「イエスの幼年時代(信仰宣言・主の祈り・天使祝詞・栄光について)」、第2講話「イエスの教え」、第3講話「イエスと私」、第4講話「イエスの受難と死と復活」、第5講話「キリスト者としての生き方」の集中講話と野外ミサに与り、4名全員が研修終了証を授けられました。参加者は、難解な講義内容にも皆、居眠りすることなく終始熱心に耳を傾け、メモを取りながら受講しました。ボーイスカウト日本連盟では、基本理念として「本連盟加盟の指導者並びにスカウトは明確なる信仰を持つ」とをもちに、個々の宗派の信仰への道しるべの証として、宗教章がそれぞれキリスト教章・仏教章・神道章等設定されております。さらに、現状では富士章(スカウトの最高位)に進級する為の必須科目の一つとされています。今回の研修会は、近年の信者スカウトの減少状況を踏まえて、事前にJCCS本部と協議を行い、一部カリキュラムを変更し、より多くのスカウト諸君にキリスト教との出会い、信者スカウトには明確なる信仰の再確認を目的として開催されました。研修を終えたスカウト達は、今後事後課題を履修の上、JCCS本部へ申請し授与となります。高松校町教会の岩井様・坂出教会所属のボーイスカウト指導者5名のご支援に感謝を込めて紙面に記させていただきます。



各教派の皆さんお茶で親睦

最後の校町の祈禱集いでは、『あなたたちは地の塩である。』の御言葉を、実際に塩を口にすることで味わうという体験をしました。ある信者さんが「こんなに甘いと言われたらを想い出します。私にはお互いに兄弟が必要なのです。この分裂の悲しみを癒して下さるものは、キリストを信じて他にはありません。主は、全ての信徒が教会の一致を求めるようになることを望んでおられます。神様の慈しみを求めて、キリスト教一致祈禱週間に合わせて、私も祈ります。校町教会 佐藤悦朗

TSC高松教区サポートセンター 東日本大震災大船渡支援 献金入金報告

12月16日〜3月7日分 14万7319円(お米券含) 累計: 1千677万2792円 2016年3月10日現在

編集後記

神のいつくしみしみの大聖年における恵みの聖週間が目前です。直前に溝部宣司牧師の逝去と云う一大事もありましたが、故人が播いた種が高松教区助祭祭階(云々)大きな喜びの実りをもたらしています。

また校町小教区には大阪教区から松浦神父様の着任もあり、教区内に新しい風が聖霊の息吹として吹き渡ることでしょう。その息吹がどう吹いているのか、信徒の皆様の情報お待ちします。(J)



神を観想し、

聖ドミニコ宣教修道女会

医療法人社団聖心会 阪本病院 わたしたちは、患者様の立場に立った全人医療を行い、地域の皆様へ愛され信頼される病院を目指します 院内保育園完備 整形外科・脳神経外科・泌尿器科 皮膚科・外科・消化器外科 肝臓外科・泌尿器科・形成外科 呼吸器科・呼吸器内科・内臓リウマチ科・放射線科・リハビリテーション科・麻酔科 〒760-2002 香川県東かがわ市川東103-1 ☎0879-25-1121 (代) http://www.sakamoto-hosp.or.jp/

私たちは、自分を創造しようとするこどもをまなび、護りましょう 暁の星学園 鳴門聖母幼稚園 高知聖母幼稚園 阿南聖母幼稚園 海の星幼稚園